

## 第14回中海会議【概要】

日 時 令和5年8月17日(木) 14:30～15:40  
場 所 ホテル白鳥 鳳凰の間

### 中海湖岸堤等整備に係る調整会議(説明:国土交通省出雲河川事務所長)

#### 【意見等】

##### ■米子市長

中海の湖岸堤の順調な整備についてお礼を申し上げる。

樋門の自動化について、今後の作業負荷軽減と地元の要望を踏まえて、自動化の検討をお願いしたい。  
また、中海の基準観測水位の見直しについて、検討いただきお礼を申し上げる。

##### ■鳥取県知事

中海会議では、洪水防止のために流域のみんなで協力していくという考えがあり、この考えのもと下流域の我々も協力している。現在、上流側では土地の買収が進んでいるが、遺跡調査などに時間を要すると思うので、その間にぜひ下流側の整備を進め、安全安心を図っていただきたい。

厳しい気象条件下における潮位は昔から変わらないということであったが、近年では、西風が強く吹く際に高潮になり、都市河川が越水するようになった。これらについては、安全側に考えて、地元の意向もよく尊重しながら、これからの計画策定や事業の実施をお願いしたい。

##### ■出雲河川事務所長

潮位に関しては、中海の湖心のデータを一つの指標としているため、沿岸部では吹き寄せの影響で、潮位が高くなる可能性はある。このため、地域毎に状況を確認し優先順位をつけながら、予防的な対応として湖岸堤の整備を進めていきたい。

### 中海の水質及び流動会議(説明:島根県環境政策課長)

#### 【意見等】

##### ■米子市長

米子市は、米子湾の汚濁について責任を感じながら、これまで流入負荷を抑える努力をしてきた。国土交通省が定める公共下水の汚濁、汚水処理対策の目標である「概成10年」については、達成できる見込みである。米子湾への流入負荷は下がってきているが、一方、くぼ地の問題であるとか、米子湾として汚濁した水が溜まりやすい状況があるなど、かなり原因が絞られているため、さらなる対策の研究や検討をお願いしたい。

##### ■島根県環境政策課長

引き続き、モニタリングを中心に様々な角度で調査研究を進めていく。

##### ■境港市長

浅場造成、覆砂の計画延長である14.4キロの完成時期はいつ頃を予定しているのか。また、計画以上に浅場造成や覆砂を実施していく必要はないのか。くぼ地を埋める覆砂の効果は、栄養塩が抑制されるということで非常に効果があるように思っている。

現在、境港市はブルーカーボンの調査事業に着手し、中海・美保湾を使ってJブルークレジットの申請に向けて取り組んでいるが、藻場の再生を進めていくためにも、くぼ地を埋めて中海の水質を改善していただきたいと思っている。これらについて見通しなどがあれば伺いたい。

### ■鳥根県環境政策課長

くぼ地については、令和元年度に中海会議において、くぼ地に対する対策の効果などについて整理し、埋め戻しやくぼ地に対する覆砂は、整備後の効果が持続しづらいという結論となった。しかし、全く手をつけなければいけないので、モニタリングを行い水質に与える影響などについて引き続き調査を行っていく。また、NPOがくぼ地に対する覆砂実証事業という取組を進めており、そういった取組についてもしっかりとフォローしながら対応していきたい。

### ■出雲河川事務所長

我々は中海の水質浄化を水環境整備事業として進め、CODなどを一つの指標としながら、まずは周りの環境からきれいにしていこうということで、浅場造成なり覆砂を始めた。

今年度から自然再生事業にも取り組み、例えば、藻場をブルーカーボンとして活用するなど、少し豊かな中海を目指していきたい。今後、自然再生計画、事業計画を策定し取組を進めていきたいと思っているため、来年度以降、具体的に説明させていただきたい。

### ■米子市長

今回の報告から、中海の浄化が進展していることや、ワイズユースについても沿岸の皆様が様々な取組を行っていることが確認できた。

この中海会議の中で、先ほど報告のあった数値の取り方の見直しなどを積極的に進めながら、中海が豊かな海に戻ったなど実感できるような、そういう取組を皆様と知恵を合わせて進めていけたらと思っている。

COD等の数値は、トレンドとして改善傾向であることが示されているので、今後は、何か新しい目標を検討し、それらについて我々も議論したいと思うので、ぜひ取組を進めていただきたい。

### ■鳥取県知事

伊木市長のご意見に関連して、例えば、くぼ地も含めて積極的な環境対策を考えていく新しい事業であるとか、以前から安来市や松江市からも意見が出ている水産利用だとか、そういう具体的なお話などもあるので、そろそろこういうふうにしたらどうかという意見も構成員の皆様から出していただきながら、この会議で特に重点を置いてフォローしたいテーマがあるのではないかと考えている。

中海会議が発足した当時とは事業内容も、住民の関心も移り替わっているため、具体的な見直し案をいただきながら、次回に向けて事務局で在り方の改善を考えてみてはどうかと思うので、検討いただきたい。

#### 中海沿岸農地排水不良ワーキンググループ（説明：説明省略）

##### 【意見等】

特になし。

#### 中海の利活用に関するワーキンググループ（説明：説明省略）

##### 【意見等】

特になし。